

# 令和4年度事業報告

公益社団法人鳥取県人権文化センターは、鳥取県、市町村、民間団体等との密接な連携のもと、人権に関する専門機関として次に挙げる事業を行った。

区 分	事 業 内 容
<p>1 人権啓発事業</p> <p>(1) 調査研究事業</p>	<p>①調査研究</p> <p>○次のテーマで調査研究を行った。</p> <p>子どもの人権 (R4年度終了)</p> <p>続・今後の部落問題学習をどう展開するか (R4年度終了)</p> <p>暮らしの中の「同調圧力」</p> <p>人権啓発関係者とバイアス</p> <p>差別とは何か?</p> <p>衣 ～アシタ、なに着る?～</p> <p>○調査研究の成果を活かし、次のことを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発教材の開発           <ul style="list-style-type: none"> <li>人権学習資料「子どもの意見を大切にする大人のための10の心得」</li> <li>人権学習教材「innovation『部落差別があり続ける社会』を変えるために」</li> </ul> </li> <li>・とっとり人権情報誌ふらっとへの啓発記事掲載           <ul style="list-style-type: none"> <li>第37号「特集 バイアスと人権」</li> <li>第38号「特集 子どもは権利の主体者！ー子どもの意見表明権ー」</li> </ul> </li> <li>・ホームページに小論文(エッセイ)を掲載           <ul style="list-style-type: none"> <li>「職場のハラスメントを見逃さない！ そのために」 (4/11)</li> <li>「学びのカタチ×学びのナカミをアップデートー学びの効果・価値をアップさせるためにー」 (4/28)</li> <li>「ヤングケアラーの実態と支援の取り組み」 (5/10)</li> <li>「子どもの意見表明権とその実践的課題について」 (10/5)</li> <li>「『周りに合わせるのが良いとき、悪いとき』から考える、『同調』、そして『同調圧力』」 (11/7)</li> <li>「『寝た子を起こすな論』を考える」 (12/7)</li> <li>「子どもの意見表明権とアドボカシー ～アドボキット養成研修会に参加して～」 (2/13)</li> <li>「人権を難しくさせるのは？ー研修講師がもつ(!?)「知識の呪縛」から探るー」 (2/28)</li> </ul> </li> <li>・県内各地の研修等への講師派遣 (講演や学習プログラム内容に活用)</li> </ul> <p>②効果的な人権啓発手法等の研究開発</p> <p>外部研修に参加し、最新の啓発手法や新たに表出した人権課題等を学んで技術習得や情報収集を行い、各種事業に活かした。</p> <p>延べ参加者数：8人 参加研修数：7件 ※うち4件はオンライン参加</p> <p>参加研修： ※カッコ内は開催日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回人権とっとり講座 部落問題と「出会う」ーマイノリティ当事者がみる世界から (7/19)</li> <li>・相談支援担当者向け精神保健ワライン研修会 第4回「ひきこもりの基礎理解」 (6/14)</li> <li>・(同上) 第7回「発達障がい」 (7/26)</li> </ul>

区 分	事 業 内 容
<p>(1)調査研究事業          &lt;つづき&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワハラ・セクハラ・マタハラ相談担当者セミナー ベーシック編 (10/3)</li> <li>・第48回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会 (10/7)</li> <li>・日本女性会議 2022 in 鳥取くらし (10/28)</li> <li>・インソースセミナー「研修講師養成研修 ～講師経験者のための研修スキル向上編」 (3/3)</li> </ul> <p>③効果的な事業展開・方向性等の協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県内外の有識者と意見・情報交換を行い事業の方向性や内容に活かすため、事業アドバイザー会議を開催した。</li> <li>開催日：8/10、8/12、9/1 ※オンラインで開催</li> <li>協議内容：             <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発情報の普及方法について</li> <li>・ICTの利用について</li> <li>・県市町村との事業連携について</li> <li>・鳥取県人権教育推進協議会との統合について</li> </ul> </li> <li>○県市町村の人権啓発担当課に対してメールによるアンケート調査を実施し、人権啓発事業に起こった最近5年間の変化とその影響、また今後の変化予測等について情報・意見収集した。</li> <li>実施時期：6月下旬～7月中旬 回答率：100%</li> </ul>
<p>(2)研修事業</p>	<p>①人権啓発指導者養成のための講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「啓発者のための人権勉強会」を以下のとおり開催した。</li> <li>開催日：7月28日</li> <li>参加者：鳥取県教育委員会事務局人権教育課 4人</li> </ul> <p>②一般啓発のための各種人権研修への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県内各地の研修に専任研究員を講師として派遣し、講演や対話型（ふらっとカフェ）での研修を行った。</li> <li>研修回数：70回 受講者数：3,254人</li> <li>・コロナ禍への対応             <ul style="list-style-type: none"> <li>：リモート研修 7回 ※対面とのハイブリッド2回を含む</li> <li>講演の録画配信 3回</li> </ul> </li> <li>・3ステップ研修 ※研修目標の設定→研修実施→学習の定着・発展の3段階実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>：鳥取県立米子養護学校 7/19、8/25、10/11</li> <li>鳥取県社会福祉協議会 1/31、2/27、3/13</li> </ul> </li> <li>○対話型の人権学習「ふらっとカフェ」をふらっと交流スペース等で開催した。</li> <li>開催回数：6回 参加者数：19人</li> <li>テーマと開催日             <ul style="list-style-type: none"> <li>：差別とは何か？(6/2)、傍観者でいることは良い？悪い？(6/23)、周りに合わせるのが良いとき、悪いとき(11/22)、差別解消に思いやりは必要か？(12/16)、なぜパワハラはなくなるのか(1/20)、「話せばわかる」は本当か？(2/22)</li> </ul> </li> <li>○対話型の新しい人権学習スタイル「ふらっとカフェ」への関心と普及をうながすための啓発グッズを作成し、参加者等に広く配布した。</li> </ul>

区 分	事 業 内 容
<p>(2)研修事業          &lt;つづき&gt;</p>	<p>仕様・部数：ドリップバッグコーヒー 1,500個（QRコード付き）          作成：11月          配布：ふらっとカフェ参加者、講師派遣先、県民ふれあい会館（利用者、入居団体）、県立人権ひろば21来館者、みんなの人権フェスティバル参加者等</p>
<p>(3)啓発・情報提供事業</p>	<p>①機関紙の発行</p> <p>○機関紙を作成し、配付した。          仕様・部数：A4版 4頁 2,000部 音声コード(Uni-Voice)付き          発行：6月（第79号）          掲載内容：県立人権ひろば21の紹介（施設・イベント事業、LINE紹介、利用者の声）、各種啓発物・人権相談窓口の紹介、活動支援のお願い等          配付先：会員、学校、図書館、行政・公的機関、県外関係機関等</p> <p>○県からの受託事業として作成した「とっとり人権情報誌ふらっと」を各号1,100部増刷し、会員等に配付した。          10月配付：とっとり人権情報誌ふらっと第37号          2月配付：（同上） 第38号</p> <p>②人権啓発パネルの貸出・展示</p> <p>令和元年度までに作成した既成パネルを県内各地に無償で貸し出すと共に、ふらっと交流スペースで展示した。          ※米子市人権情報センターの御協力で米子市からも貸出を実施          貸出先数：33団体          貸出セット数：55セット          主な貸出先：公民館、人権センター、小中高校等</p> <p>③インターネットを活用した各種情報の発信</p> <p>○ホームページによる情報提供を行った。          掲載記事数：45件…発行物の紹介（機関紙、情報誌、啓発資料等）、事業案内（講師派遣、メールマガジン配信等）、調査研究エッセイ、ふらっと交流スペース展示案内等          延べ年間閲覧者数：14,635人</p> <p>○フェイスブックによる情報提供を行った。          発信記事数：32件…ミニ学習会開催案内、ふらっと交流スペース展示案内、発行物の紹介、メールマガジン配信案内等</p> <p>○メールマガジンによるタイムリーな情報の発信を行った。          通常配信：12回（毎月第4水曜日）※7、8、9月は戦争関連の記事を配信          臨時配信：5回（ふらっとカフェとミニ学習会の開催案内）          登録者数：177人</p> <p>④視覚障がいに対応した啓発資料の作成</p> <p>○令和3年度に墨字版を制作した人権学習資料の点字版と音声版を作成し、点字図書館、鳥取市立図書館、倉吉市立図書館、米子市立図書館及びふらっと人権ライブラリーに開架した。</p> <p>○機関紙ととっとり人権情報誌ふらっとの各頁に音声コード(Uni-Voice)を配した。</p>

区 分	事 業 内 容
(4)ネットワーク事業	<p>①県市町村、公民館、学校(PTA)、企業等が実施する人権研修への支援 人権研修の企画者等からの相談に対して、講師や教材等の情報提供及び研修企画についての助言等を行った。 対応件数：18件</p> <p>②人権啓発関連団体との協働</p> <p>○鳥取県人権教育推進協議会が事務局を務める「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」に次のとおり参画した。 ・各会議への出席：実行委員会（5/10、6/14） 企画推進委員会（4/28、5/31、11/11） 基調提案作成委員会（5/19、6/2、6/17） ・集会の開催：第1会場を担当し、東部主会場の進行と中継先の中西部サテライト会場からの連絡を行った。（8/3）</p> <p>○鳥取地方法務局人権擁護課が事務局を務める「鳥取県人権啓発活動ネットワーク協議会」に次のとおり参画した。 ・協議会への出席：4/20、8/30、2/22 ・「みんなの人権フェスティバル」の企画運営業務プロポーザル審査会で審査員を務めた。（7/26） ・同フェスティバルにおいてパネル展示、啓発資料の配付等を行った。（12/10、倉吉未来中心）</p> <p>○鳥取県人権局が実施した鳥取県デジタルメディアリテラシー普及啓発業務委託プロポーザル審査会において審査委員を務めた。（8/18）</p> <p>○鳥取県人権局が事務局を務めるネットモニタリング・ネットワークと協力して、ネットモニタリングと差別的書き込みの削除要請を行った。 モニタリング：毎月4時間程度 削除要請：4件</p> <p>③啓発関連イベントへの協力 「みんなの人権フェスティバル」のTV広報にふらっちょーの着ぐるみを貸し出した。（12/9、NHK鳥取放送局「いろ★どり」ふるさと伝言板コーナー）</p>
(5)鳥取県部落解放研究所 継続事業	<p>①効果的な人権啓発手法等の研究開発 人権啓発に係わる各種の全国集会・研究会等に参加し、全国の最新の啓発状況とさまざまな人権課題等の現状について情報収集した。 延べ参加者数：14人 参加研修数：4件 ※すべてオンライン参加 参加研修 ※カッコ内は開催日 ・部落解放・人権西日本夏期講座（6/9-10） ・第53回部落解放・人権夏期講座（8/22-23） ・第43回人権・同和問題企業啓発講座 第1部（9/30） ・（同上）第2部（11/1）</p> <p>②各種啓発資料等の作成・配布</p> <p>○人権学習資料を作成・配付した。 資料名：子どもの意見を大切にする大人のための10の心得 仕様・部数：A3判 縦4折り 6,000部 作成：2月 配付先：会員（県市町村、企業・団体、個人）、小中学校、県教委・教育局等</p>

区 分	事 業 内 容
(5) 鳥取県部落解放研究所 継続事業 <つづき>	○人権学習教材を作成・配付した。 資料名：innovation 『部落差別があり続ける社会』を変えるために 仕様・部数：A4判 中綴じ 16ページ 850部 作成：3月 配付先：会員、各種学校、県教委・教育局、人権センター等
(6) 人権相談事業	人権相談窓口の設置 ○毎週水・土・日曜日に人権相談員1名が面談、電話、メール等で対応した。 相談件数：175件（面接16件、電話159件、メール0件） 相談内容：人権相談0件 一般生活相談175件（病気、財産、家族等に関すること） ○相談窓口をPRするため、日本海新聞と朝日新聞に広告を掲載した。 掲載回数：6回
(7) 受託事業	「とっとり人権情報誌ふらっと」の作成・発行 ○県総務部人権局より事業を受託し、次のとおり行った。 仕様・部数：A4判 8ページ 各回14,500部 発行：10月（第37号）、2月（第38号） 掲載内容：特集（啓発記事）、県からの啓発情報（県が執筆担当）、 県立人権ひろば21ふらっとお知らせ記事 配付先：企業（約13,000社）、市町村、小中高校、県内関係機関等
2 鳥取県立人権ひろば21 「ふらっと」の管理運営	指定管理者として管理運営を受託（2019～2023年度）し、次の事業を行った。 入館者数：3,039人 ①人権ライブラリーの管理・運営 貸出資料数：3,422点（図書2,835冊、DVD587本） ※うち宅配サービスまたは図書館経由を利用した貸出数：854点 新規購入数：207件（図書190冊、DVD17本） ②交流スペースの管理・運営 ○パネル展等を実施した。 実施回数：15回 協力団体：困り感を抱える子を支援する親の会（らっきょうの花）、 鳥取県中小企業労働相談所（みなくる）、鳥取県立鳥取聾学校、 社会福祉法人もみの木福祉会、認定NPO法人十人十色、 アフリカ子どもの本プロジェクト、鳥取県立白兔養護学校、 鳥取県総務部人権局、鳥取県JICAデスク、鳥取アディクション連絡会 ○戦争と平和に関する書籍やDVDを集めた特集コーナーを7月に設置し、 日本海新聞「図書館出合いの広場」にPR記事を掲載した。 ○ミニ人権学習会を人権関連団体と協力して開催した。 実施回数：3回 延べ参加者数：95人 ・「うちげでいきたいー映画上映と意見交換会」だべりばあ（6/26） ・「難民キャンプで暮らしてみたらー映画上映と意見交換会」 プラン山陰（10/2） ・「人権講座 アイヌの人々から学んだこと」わいわい広場とっとり （12/18）

区 分	事 業 内 容
<p>2 鳥取県立人権ひろば 21 「ふらっと」の管理運営 ＜つづき＞</p>	<p>○自主イベントを開催した。 イベント名：SDGsカードゲーム体験会 開催：10/7 参加者数：21人</p> <p>○団体等の視察に対応した。 視察団体：青翔開智中学校1年生 11人（6月22日）</p> <p>○交流スペースを民間団体等に無償で貸し出し、広く人権に関連する勉強会や打合せ等に活用された。 利用回数：23回 利用者数：128人 利用団体：とっとり若者サポートステーション、コトモニ、困り感を抱える子を支援する親の会(らっきょうの花)、鳥取県更生保護女性連盟、プラン山陰、認定NPO法人ハーモニカレッジ</p> <p>③その他施設の管理運営</p> <p>○インターネット等による情報提供を行った。 ・ホームページでの情報提供：新着図書及びDVDの紹介、ミニ学習会開催案内、交流スペース展示の案内等 ・LINEでの情報提供：友達登録 40人</p> <p>○ふらっとのPRグッズを作成し、県内関係機関等に配布した。 作成：6月 仕様・部数作成：除菌シート 1,000個（QRコード付き）</p> <p>○新聞等にPR記事を掲載した。 ・日本海新聞「図書館出合いの広場」 ・うさぎの耳（東部版、西部版） ・とっとり県民活動活性化センターつうしん</p> <p>○施設及び事業PRのため各種団体等を訪問した。 鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取環境大学まちなかキャンパス、鳥取市ボランティア市民活動センター、とっとり県民活動活性化センター</p> <p>○COVID-19対策として、感染状況に応じて次のことを行った。 手指消毒とマスク着用のお願ひ、清拭消毒（机・椅子、返却物等）、換気・CO2センサーの設置</p>
<p>3 理事会・総会の開催</p>	<p>業務の適切な執行及び審議のため、理事会及び総会を開催した。</p> <p>①理事会の開催</p> <p>○第1回通常理事会 期日：令和4年5月9日 会場：県立生涯学習センター 4階大研修室 議事：・令和3年度事業報告及び決算について ・令和4年度補正予算（案）について ・役員を選任（案）について ・令和4年度定時総会の招集（案）について</p> <p>○第1回臨時理事会 期日：令和4年5月24日 会場：県立生涯学習センター 4階大研修室 議事：・会長、副会長及び常務理事の選定について</p>

区 分	事 業 内 容
<b>3 理事会・総会の開催</b> <つづき>	<p>○第2回臨時理事会            期日：令和4年10月25日            会場：県立生涯学習センター 5階講義室            議事：・令和5年度事業計画（要望案）について            ・令和5年度収支予算（要望案）について            報告：・会長、副会長、常務理事の職務執行状況について            ・令和4年度前期事業報告について            ・令和3年度決算書類（正味財産増減計算書）の修正について</p> <p>○第2回通常理事会            期日：令和5年3月14日            会場：県立生涯学習センター 5階講義室            議事：・令和5年度事業計画（案）について            ・令和5年度当初予算（案）について            ・令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて            ・令和4年度補正予算（案）について            報告：・会長、副会長、常務理事の職務執行状況について            ・令和5年度市町村支出金承認額について            ・鳥取県立人権ひろば21指定管理施設運営評価委員会の評価結果について</p> <p>②総会の開催            ○定時総会            期日：令和4年5月24日            会場：県立生涯学習センター 5階講義室            議事：・令和3年度事業報告及び決算について            ・役員を選任（案）について</p>

### 〈事務局組織〉

（令和5年5月現在）

・常務理事（兼事務局長）	1名（常勤）
・次長兼上席専任研究員	1名（常勤）
・専任研究員	3名（専任職員3名 常勤）
・係長	2名（常勤）
・人権相談員	2名（非常勤。水・土・日曜日のローテーション勤務）
・ライブラリー相談員	3名（非常勤。年末年始・祝日以外のローテーション勤務）
.....	
計	12名（常勤7、非常勤5）

### 〈参考〉指定管理施設である「鳥取県立人権ひろば21」（ふらっと）の職員組織

・館長	1名（常勤・人権文化センター事務局長が兼務）
・次長	1名（常勤・人権文化センター次長が兼務）
・係長	1名（常勤・人権文化センター係長（うち1名）が兼務）
・ライブラリー相談員	3名（非常勤）
.....	
計	6名（常勤（兼務）3名、非常勤3名）

